

二次発酵棟(2)



乾燥棟



製品棟(ふるい機)



製品棟(製品たい肥)



脱臭棟



たい肥を利用しやすくするために



良質なたい肥（黒く、無臭、サラサラ）



たい肥散布(請負)



○散布料(10a 1t散布の場合)

フレコン3,000円/袋・500kg × 2袋
+ 散布手数料2,000円/1t
+ 運搬費1,000円
=9,000円

地産地消



道の駅 もてぎプラザ内

費用対効果と環境貢献

5,000万円分貢献

美土里 たい肥 販売

美土里たい肥の売上
1,200万円
袋詰商品1万袋販売／受益者延べ
2,000戸(受益面積10ha)
バラ商品1,500トン販売／受益者
延べ500戸(受益面積100ha)

農家 支援

美土里シール認定事業
220万円
美土里たい肥シール添付商品として
農産物1点当り10円の付加価値を
付けて販売した場合の増量見込み

農家 支援

学校給食への地場食材
供給
100万円
年間約15品目の農産物を学校給食
食材へ供給

焼却 費用 削減

生ごみ焼却費用の削減
1,800万円
処理料年間600トン×負担単価
3万円＝1,800万円の町費負担
削減

農家の 経営 改善

酪農家の糞尿処理経費や労
力の軽減。農家の減農薬、減
化学肥料による、経費の削減、
農薬散布等の労力の削減。

環境 負荷 の軽減

生ごみ等を焼却しないこと
による、CO₂やダイオキシンの
排出量削減、地球温暖化
防止。600t×0.54kg＝324t

環境 保全

畜産経営による環境汚染防止
農地80haの環境汚染防止
酪農家8戸の400頭の
家畜糞尿処理

焼却 費用 削減

剪定枝堆肥化による焼却
費用削減 co₂削減
300万円
処理料100トン×負担単価3万円
＝300万円の町費負担金削減

健康 促進

美土里たい肥栽培野菜や
お米の学校給食への提供や、
直売所等での販売により、
地域住民への健康の促進に
つながる。

環境 保全

80haの森林整備による事業
費削減2,620万円
仮に森林組合に委託し森林整備を
実施した場合 1ha41万円×80ha
＝3,280万円 農家実施の場合なら
660万円のできるその差額

環境 保全

もみ殻焼却中止による
環境保全 co₂削減
水田180ha分 290t/年
水稻農家50戸の水田から出る
もみ殻の処理 200t/年

今後の課題

- ・たい肥センターの効率的な管理運営
- ・たい肥の特徴を活かした栽培方法の確立
- ・消費者に対する食と農と健康についての普及啓発
- ・地域ぐるみのごみのリサイクル運動の推進
- ・環境貢献度の数値化(CO2の削減量)
- ・新エネルギーの開発(BDF・木質ペレット)
- ・たい肥を使った地域おこし、農作物のブランド化
- ・美土里館の更新(施設の老朽化)